

エクスセル

入門講座

No 2

河津町教育委員会

特定非営利活動法人 静岡パソコンサポートアクティビティ

第5章 自分史をつくってみよう（2日目）

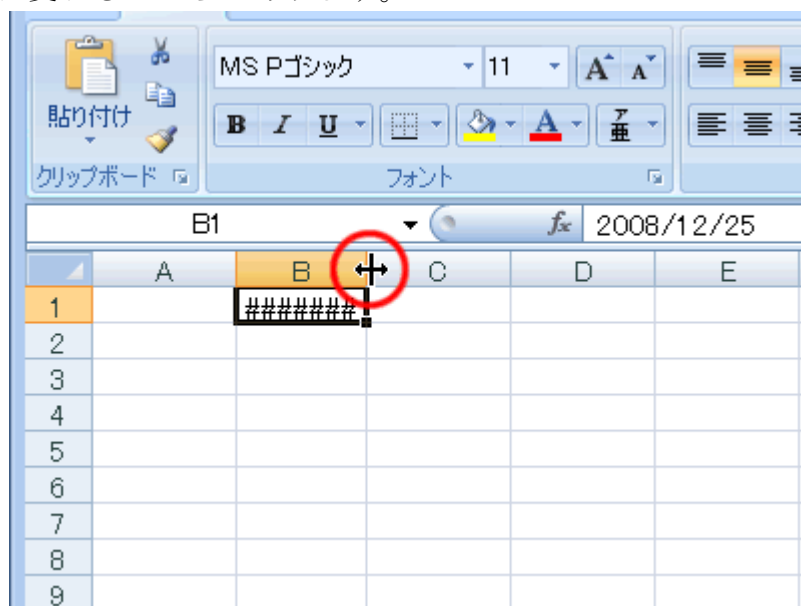
1. エクセルを起動しよう。

エクセルを起動するには、次の方法があります。

- ① エクセルはスタートボタンから起動する
- ② エクセルはデスクトップのアイコンをクリック（ダブルクリック）して起動する。

2. エクセルに文字を入力します。

- ① エクセルには、列（アルファベット）と行（数字）でセルの場所を指定することができます。
[A1]をクリックして、「時代」
[B1]をクリックして、「西暦」
[C1]をクリックして、「年齢」
[D1]をクリックして、「主なできごと」
[E1]をクリックして、「家族」
[F1]をクリックして、「学校・仕事」
[G1]をクリックして、「人間関係」
を入力します。（文字入力時に、日本語入力がオンになっていること。文字ツールバーに、「あ」が表示されていること。）
- ② セルの幅を調整しましょう。
列（アルファベット）の間の線の上にカーソルを合わせます。そうするとカーソルが黒いカーソルになるところがあります。



上のカーソルにかわったらそのまま左クリックを押しながら、左右に移動して列の幅を整えましょう。

3. 罫線を引いてみる。

エクセルは表計算ソフトウェアです。罫線をひいて表をつくることができます。

① 罫線をひく範囲を指定します。

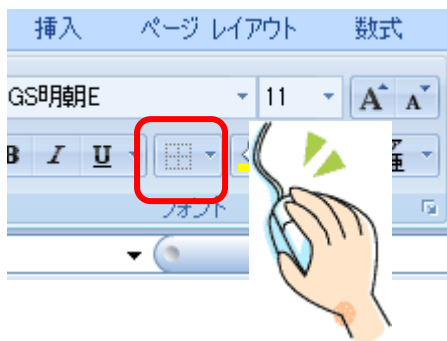
指定方法は、「時代」を入力しているセル（ここれは A1）を左クリック。その左クリックしたまま→の方向にカーソルを移動します。

そうすると青い影が長方形に広がります。この影の部分が「範囲」になります。



② 罫線「格子」で枠を作ります

①の状態、罫線ボタンをクリックします。



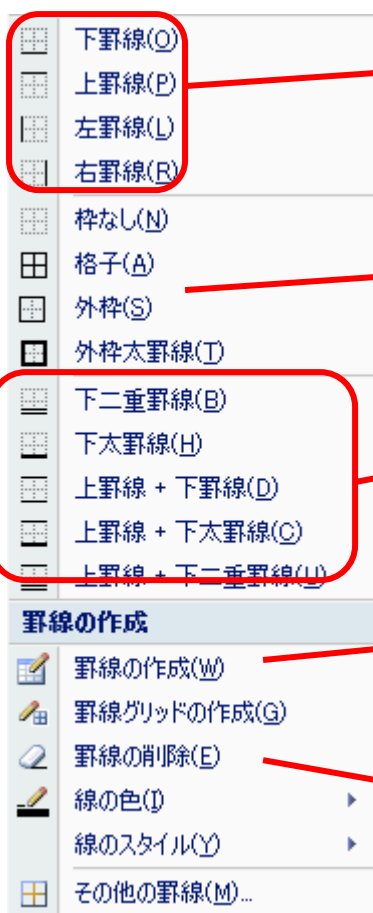
プルダウンメニューの中にある「格子」を左クリックします。

③ 表を作成することができました。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	時代	西暦	年齢	主な出来事	家族	学校・仕事	男女関係	人間関係
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								

※ちょっとポイント！

罫線を引くプルダウンメニューには、いくつかの種類があります。



指定したセル（アクティブセル）の上下左右に線を入れることができます。

指定したセルの外側に線を入れることができます。

2重罫線や2本の線の組み合わせを選ぶことができます。

ここをクリックするとカーソルが鉛筆マークになります。この鉛筆マークの状態でもう一度左クリックするとそこに線を入れることができます。

ここをクリックするとカーソルが消しゴムになります。この消しゴムの状態で左クリックするとその線が消すことができます。

4. 文字を入力しましょう。

① 生まれたときのことを入力しましょう。

日本語を入力するときは、



(文字ツールバー) がどうなっている



になっている場合は、キーボードの半角/全角キーを押します。



になっている場合は、そのまま日本語入力ができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	時代	西暦	年齢	主な出来事	家族	学校・仕事	男女関係	人間関係
2	乳児	1963	0	誕生	父 一男 母 由美子			
3								
4								
5								
6								

② 次に「年齢」と「主な出来事」、その時の「家族」「学校・仕事」「男女関係」「人間関係」について入力します。

「年齢」は、半角英数字で入力します。

「主な出来事」「家族」「学校・仕事」「男女関係」「人間関係」は、日本語入力で入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	時代	西暦	年齢	主な出来事	家族	学校・仕事	男女関係	人間関係
2	乳児	1963	0	誕生	父 一男 母 由美子			
3			2	弟が生まれる	弟 実			
4			4	幼稚園入園		聖母幼稚園		
5			6	小学校入学		伝馬町小学校		
6			10	妹が生まれる	妹 慶子			
7			12	中学校入学		東中学校		
8			14	生徒会副会長になる		東中学校		親友小山
9			14	学生科学賞特選		東中学校		
10			14	鈴木梅太郎賞受賞		東中学校		
11			16	高校受験		静岡高校		
12			17	バスケットボール部入部				親友久永
13			17	生徒会長になる				
14			18	大学受験		東北大学		
15				仙台市に引っ越す				
16								
17								
18								
19								
20								
21								

③ セルの幅が狭い場合は、幅を2. ②を参考に調整します。

それでも文字が入り切れない場合は、文章を改行します。文章を改行するには、改行する場所で、**Alt**キーを押しながら**Enter**キーを押します。

仙台市に引っ越す		
仙台の下宿屋さんで生活するがホヤが食べられず苦勞する。		

文章が長くなってしまいました・・・

f 仙台の下宿屋さんで生活するがホヤが食べられず苦勞する。

数式バーを見ると同じ文章が表示されます。改行する場所にカーソルをもってきて、クリックします。

次に **Alt** キーを押しながら **Enter** キーを押します。

すると改行されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	時代	西暦	年齢	主な出来事	家族	学校・仕事	男女関係	人間関係
2	乳児	1963	0	誕生	父 一男 母 由美子			
3			2	弟が生まれる	弟 実			
4			4	幼稚園入園		聖母幼稚園		
5			6	小学校入学		伝馬町小学校		
6			10	妹が生まれる	妹 慶子			
7			12	中学校入学		東中学校		
8			14	生徒会副会長になる		東中学校		親友小山
9			14	学生科学賞特選		東中学校		
10			14	鈴木梅太郎賞受賞		東中学校		
11			16	高校受験		静岡高校		
12			17	バスケットボール部入部				親友久永
13			17	生徒会長になる				
14			18	大学受験		東北大学		
15				仙台市に引っ越す				
16				仙台の下宿屋さんで生活するがホヤが食べられず苦勞する。				
17								

5. 数式を入力しましょう。

エクセルは、「表計算ソフト」です。これまでで表の作成について学びましたが、計算の部分も学ぶことも大切です。計算というと面倒だ・・・算数は苦手・・・と思う方もいるかもしれませんが、でも多くの方がエクセルで表計算をすることは、それ以上にエクセルが簡単に計算しやすいソフトであることを証明しています。

① 数式を入力するときのルール

ア) 数式を入力するには、数や演算子（＋、＊、－、／など）を入力します。それらを半角英数字で入力します。（日本語入力をオフにします。）



この状態にします。

イ) 式を入力するセルに「=」を入力します。

時代	西暦
乳児	1963
	=

「=」は、**Shift**キーを押しながら

=
- ほ

キーを押します。

ウ) 計算式で計算するセルをクリックして指定します。

例) たとえば、B3に2歳のときの西暦を計算したいときは、

B3をクリックして = を入力。

つづけて

C3セルをクリック

+を入力 (Shift+ **+**)

+
; れ

B2をクリック

すると

=C3+B2 という感じになります。

COUNTA			
	A	B	C
1	時代	西暦	年齢
2	乳児	1963	0
3		=C3+B2	2
4			4
5			6
6			10
7			12

主な出来事
0 誕生
2 弟が生まれる
4 幼稚園入園
6 小学校入学
10 妹が生まれる
12 中学校入学

ここまで入力ができたら **Enter**キーを押します。B3に答えが表示されたでしょうか？

エ) できたら、B4セルに = を入れて計算式を入れます。このとき注意が必要なのは、

B4セルに =C4+B3 というように入力してはいけません。

なぜ？それはこの表の西暦は自分の生まれた年号（ここでは1963年）に年齢を加算しているからです。（2歳のときの西暦は生まれた1963年+2年。）

B4セルには、=C4+B2 という計算になります。

オ) B5セル以降も同じように入力していきますが、計算式の中でB2セル（誕生日）は固定となります。

カ) 参照するセルを固定する機能があります。

たとえばB2セルを固定して参照したい場合、B2をクリックした後に **F4**（ファンクション4）を押します。すると数式バーのB2が\$B\$2というように表示が変わります。

この\$がついている状況を絶対参照と呼びます。

6. フィルハンドルで簡単に数式コピー

同じような数式をひとつひとつ入力していくことは、学習になります。しかし時間もかかります。そこで簡単に式をコピーできるように、フィルハンドルという機能があります。

フィルハンドルとは、アクティブセルの右斜め下にある黒い点をフィルハンドルといいます。

	A	B
1	時代	西暦
2	乳児	1963
3		1965
4		

フィルハンドル

フィルハンドルにカーソルを移動すると十字カーソルに変わります。

その状態でコピーしたいセルの方向にずらすとそのセルに式をコピーができます。

さて、ここでエクセルを学習しているみなさん、このフィルハンドルと絶対参照を利用すると「年齢」と「西暦」の計算ができそうなだな、と感じませんか。

B4セルをクリックして数式を入力します。

= C4 + B2

これだけでフィルハンドルでコピーすると参照する位置もずれてしまいます。

そこで絶対参照を使います。B2をクリックしたらすぐに **F4** を押します。

= C4 + \$B\$2

数式バーに上の式が表示されます。これで準備が完了です。

	A	B	C	
1	時代	西暦	年齢	主な
2	乳児	1963	0	誕生
3		1965	2	弟が生まれ
4		1967	4	幼稚園入園
5			6	小学校入学
6			10	妹が生まれ
7			12	中学校入学
8			14	生徒会副会
9			14	学生科学
10			14	鈴木梅太郎
11				受験
12				ケットボ
13				会長に
14				受験
15				市に引

の下の宿

左ボタンを押しながら、カーソルを移動。下まできたらマウスの左クリックを離します。

B4セルをクリックしてフィルハンドルにカーソルを合わせて十字カーソルにします。

そのままマウスの左ボタンを押しながら下へ移動します。左ボタンを離すと式のコピーができました。

.....おつかれさまでした。またよろしく申し上げます。